

令和6年度 学校経営方針

1. 学校教育の基盤と目的

明海中学校区の児童生徒の実態や保護者の願い、地域の特性を基盤に、浦安市学校教育推進計画の基本目標を受け、「主体的な学び・自他を尊重する心・健やかな体・豊かなかかわり」の調和のとれた生徒の育成を目指す。

また、明海南小学校との合築との利点を生かし、多様な人々、社会とのかかわりを通して、明海中学校区グランドデザインに掲げる今年度の重点の達成に努める。

そして、生徒一人一人が自分の持てる力に気付き、その能力を十分発揮しながら自己肯定感を育む教育活動に取り組み、この予測困難となっている社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことを目的とする。

令和9年度に特別支援学校が併設されることもあり、特別支援教育の理解推進に重点を置いた教育活動を行う。また、明海南小学校(明海小)との連携を計画的に進め、各教科・領域等において、小中一貫教育の構築に努める。

浦安市学校教育推進計画基本目標

自ら学び 自他を尊重する心と 新しい時代を切り拓き しなやかに生きる力の育成

明海中学校区グランドデザイン

令和5年度の重点「豊かな心の育成 縦と横のつながりを意識した交流活動の実践」

2. 学校教育目標

学ぶ喜びと 思いやりにあふれ、たくましく生きる生徒の育成
～絆と希望を胸に、夢の実現へ～ 一生懸命がかっこいい明中生

学ぶ喜びにあふれ

- ・わかる、できる、もっと知りたくなる楽しみ(主体的な学び)
- ・伝えたくなる、伝えられる(表現する力)
- ・情報を集める・整理する視野が広がる(判断する力)等

思いやりにあふれ

- ・人の気持ちに寄り添える
- ・自分の良さや他人との違いに気付き、自分や周りの人を尊重し、大切にできる
- ・つながりを大切にし、助け合える、協力できる等

たくましく生きる

- ・感謝の気持ちを持って頑張れる
- ・正しい知識のもと適切な判断ができる
- ・目標に向かって最後までやり通すことができる
- ・友だちの頑張りを応援できる
- ・困ったら困ったと伝えられる等

学年目標

<1年>

共生

～わかり合い・支え合い・高め合い～

<2年>

共生・貢献

<3年>

共生

～自主自律・貢献・思いやり～

3. 経営理念

(1) めざす学校像 凡事徹底無くして創意工夫なし

- 学校教育目標の具現化をめざし、すべての教職員が積極的に経営に努め、保護者・地域とともに歩む学校（協働）
- 互いの違いを認め、互いを尊重しあい、生徒・教職員一人一人が自分の色で輝き、笑顔と活気あふれる学校。（共生）
- 生徒一人一人が安心して自ら育ち「明海中大好き」、「明海中でよかった」と思える経験を宝にし、夢の実現につなげることができる学校（自主自律）

(2) めざす生徒像 「夢や目標の実現に向けて」→「夢や目標を実現できる力を育てる」

- ① 一生懸命がかっこよく、姿が美しく、仲間と協力し絆を深め、何事にも挑戦できる。
- ② 自他の違いを認め、尊重できる。
- ③ 明るく元気に笑顔であいさつができ、感謝の気持ちをもって生活できる。
- ④ 異年齢（小学生）や地域の人からも頼りにされるさわやかな態度。
- ⑤ 進んで明海中をきれいにできる。

(3) めざす教師像 「生徒は教師のかがみ」

- ① 生徒の自らの育ちを支え、自ら学び続ける教師。
- ② 教職員がチーム明海となって、真摯に、素早く、お互いを尊重しあいながら課題解決に対応できる。

4. 指導の重点

(1) 生徒が主体となる授業改善

- ①よい授業は生徒と教師が協同して作るという意識をもたせる。
 - ・対話的で深い学びのある授業改善を行う。
- ③ 単元の学習計画を生徒に提示(シラバス)し、見通しを持って主体的に学習を進めることのできる環境を整える。
- ④ 9年間の学びの連続性を意識した、小中連携教育を取り入れた教育活動を実施する。

(2) キャリア教育の視点を持ち、共通理解の図れた生徒指導（あいさつ・清掃・部活）の徹底

- ① 小中で、一貫性のある生徒指導(あいさつ・清掃活動)。全教員が同じ言葉で、同じ指導をする。
- ② 素早い「報告・連絡・相談・確認」を怠らない。だれがやるかではなく、何をするかを優先。一人で対応しない、チームで考える。(生徒指導部会・随時の主任会を設ける等)
- ③ 学級活動、専門委員会、部活動は生徒の責任感、勤勉性、主体性を育む機会ととらえ生徒主体で取り組めるよう工夫する。

(3) 共生社会で生きてゆく生徒の育成に向けた特別支援教育の充実

- ① 校内委員会の役割を明確にし、その機能を生かし全校体制で推進する。全職員が生徒一人一人のニーズに合わせた教育の視点を持ち、通常の学級と特別支援学級との交流及び共同学習が計画的に実施する。
- ② 特別支援教育が特別な教育ではなく、一人一人の生徒が自分の個性を生かし、もてる力を十分発揮できる教育と捉え、全職員で取り組む。
- ③ 個別の教育支援計画及び個別の指導計画を有効に活用し、合理的配慮の提供及び保護者との信頼関係を築く。
- ⑤ 担任、学年と連携した学習支援室の効果的な活用をする。

(4) 地域・保護者と共に行う学校づくり

- ① 保護者・地域への発信の工夫をする。(HPの充実)
- ② 地域・保護者と学校が教育の目標を共有し、共に学校を創り上げていくことを推進する。
- ③ 積極的に部活動や学校行事に協力していただく体制をつくる。(夏祭り等の参加)
- ④ 地域との合同避難訓練等の実施。